

春よ来い！早く来い！と思っていましたが、3学期、あっという間に3月です。梅の花が咲いたり、新芽が顔をのぞかせたりと、少しずつですが、学校の周りも春の兆しを感じるようになってきました。この時期はビオトープの池の中で、蛙の小さな卵を見つけることができました。池の水が枯れている長い期間があるのに、毎年どのようにして蛙たちは卵を産むのか、私としては不思議でなりません。でも、早く、小さな卵からオタマジャクシが池の中で自由に泳ぎ出さないか、今からとても楽しみです。

さて、学校の3月は、年度最後の月で、学習のまとめや新たな学年に向けての準備をします。また、卒業式や離任式などあり、6年生や先生方と別れる、とてもつらい思いをする月でもあるのです。子どもたちは、行事に向けてやる事が多く、そんな気持ちをおくびにも出しません。「6年生を送る会」の準備を一生懸命している様子を見ていると、“この一年でずいぶん成長したな”と感じながらも、“もうすぐ卒業なのか”と感じでちょっと寂しい気持ちになります。これを毎年繰り返している、それが学校なのでしょう。これから、大きな学校行事に向かって、学校全体がラストスパートです。

# 大 平 台

米沢小学校だより  
平成26年度第29号  
3月4日(水)発行



蛙のタマゴその1

蛙のタマゴその2

現在の校舎風景



## 感動をありがとう！6年生を送る会



1年生から5年生までの出し物を見ました。歌の歌詞やコントの中に6年生の名前や思い出を盛り込んだ楽しいものでした。そして6年生、演技もさることながら、後輩とふれあう時間を設定しており、構成もさすがでした。すばらしい6年生を送る会になりました。



(6年生特集)



新児童会認証式



前号で紹介した、新児童会の認証式を行いました。役員として1年間大変ですが、責任と自覚を持って頑張ってください。

また、旧児童会の皆さん、本当にご苦労さまでした。見事、責任を果たし立派だったと思います。

(編集後記)

“♪ あかりをつけましょ ぼんぼりに” 昨日はひな祭りでした。皆さんのお宅ではおひな様を飾りましたか。学校では、玄関に入ってすぐの所に、宮下先生が持ってきてくれた、“つるし雛”が飾ってあります。つるし雛は、江戸時代が始まりで、高価なひな人形を買えなかった家庭で始めた習慣だそうです。家族や近所の人たちが集まり、みんなで少しずつ小さな人形を作り、子どもの幸せを願う気持ちを込めて飾られたのが、つるし雛の由来だそうです。そして、誕生した赤ちゃんの、大切なお守りの役割をも担っていたようです。いつの時代も、子を思う親の気持ちは変わらないですね。▼6年生を送る会には、3名のスペシャルゲストを招待しました。6年生が1年担任の風間先生、3・4年担任の金澤先生、そして手話を教えていただいた坂本さんです。3名の先生方は、「すごい感動しました」と褒めてくださいました。▼さあ、いよいよ26年度もあと少し残すだけです。“終わりよければすべてよし”という諺もあります。最後まで、気合いを入れて頑張りましょう。



感謝です！ 旧児童会



新児童会！よろしく

